



平成 21 年 1 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社オーエー・システム・プラザ
代 表 者 代表取締役社長 長 谷 川 泰 規
(J A S D A Q ・ コード 7 4 9 1)
問 い 合 わ せ 先 取締役管理本部長 兼 総務部部长
岡 田 晃 生
電 話 番 号 0 5 2 - 2 6 3 - 8 6 5 0

特別損失の発生に関するお知らせ

この度、当社において下記のとおり特別損失の発生が見込まれますのでお知らせいたします。

記

1 減損処理に伴う損失の発生（個別）

当社が保有する有価証券のうち、時価が著しく下落したものについて、平成 21 年 2 月期第 3 四半期末において減損処理による有価証券評価損が特別損失に計上される見込みであります。

(A) 平成 21 年 2 月期第 3 四半期末の有価証券評価損の総額	226 百万円
(B) 平成 20 年 2 月期 純資産額 (A / B × 1 0 0)	5,305 百万円 (4.3%)
(C) 最近 5 事業年度の経常利益の平均額 (A / C × 1 0 0)	0 百万円 (-)
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益額の平均額 (A / D × 1 0 0)	13 百万円 (328.3%)

(注) 1 当社の決算期（事業年度の末日）は、2 月末日です。

2 平均額については、平成 16 年 9 月期から平成 17 年 3 月期および平成 19 年 3 月期から平成 20 年 2 月期の経常利益および当期純利益がマイナスのため 0 として算出しております。

2 子会社の事業譲渡に伴う特別損失の発生およびその内容（連結）

弊社、平成 20 年 10 月 31 日付「子会社の事業譲渡及び特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ」発表のとおり、当社子会社パナッシュにおいて特別利益 80 百万円と当社連結業績で特別損失 120 百万円が発生し、差し引き連結業績において 40 百万円の特別損失を見込んでおりました。

この度平成 20 年 11 月 30 日付事業譲渡日において最終的な調整を行った結果、当社の子会社である株式会社パナッシュの事業譲渡に際して発生した費用を含め 59 百万円が子会社事業譲渡損として計上される見込みです。また、株式会社パナッシュの固定資産除却に伴い、6 百万円が固定資産除却損として計上される見込みであります。

3 業績への影響

本件特別損失の計上に伴う通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、判明次第公表する予定であります。

以 上